

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	特性に応じた市街地づくり			総合計画コード	541
部名	都市建設部	主管課名	まちづくり推進課	主管課部課コード	050100
関連部課名	都市建設部(開発建築課、みどり公園課、道路整備課)				

1. 施策概要

めざす目的成果	適正な宅地利用がなされ、防災、健康、衛生環境面などに配慮した、バランスのとれた住環境のあるまちが形成されている。				
施策概要	現在施行中の根岸台五丁目土地区画整理事業を推進するとともに、土地区画整理事業の完了地区において良好な居住環境を維持する。また、地域にふさわしいまちづくりに向けて、良好な住環境を形成するため住民が主体的にまちづくりのルールを設定できる地区計画や建築協定等の制度の周知・啓発や、民間と連携した商業地のにぎわい創出、良好な市街地の形成に努める。				
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市都市計画マスタープラン	計画期間	H 16 年度	～ H 37 年度
		朝霞しみどりの基本計画		H 12 年度	～ H 37 年度
		朝霞市景観計画		H 28 年度	～ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画審議会、景観審議会、緑化推進会議を開催した。 ・根岸台五丁目土地区画整理組合に補助金を交付した。 ・道路や側溝の清掃、また違反広告物の撤去や除雪を行った。 ・土地区画整理事業地内の街区公園の整備について検討した。 ・建築基準法等に基づく相談、審査、許認可、現場確認等を行った。 ・朝霞市景観条例の規定に基づく届出の受理、指導を行った。 ・埼玉県屋外広告物条例に基づく相談、審査、許可等を行った。 ・建設リサイクル法による届出および現場確認を実施した。 ・都市計画法第29条等に基づく届出、審査、許認可、確認、証明書の交付および検査を行った。 					
H28年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	土地区画整理事業や開発行為等により公共施設やインフラが整備され、良好な市街地が形成された。				
	子育てがしやすいまち	道路や歩道、公園が整備され、歩行者の安全確保と人が集える空間が確保できた。				
	つながりのある元気なまち	建築物を建築する際、住民同士のルールづくりや建物の高さ制限を設けることで、一体感のある調和した街並みが形成できた。				
	自然・環境に恵まれたまち	一定規模の開発行為等により、緑地や公園を配置し景観まちづくりを推進することができた。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		82,250	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 根岸台五丁目土地区画整理事業整備進捗率	%	95	98	100	100	100
		(説明) 同区画整理事業における事業費ベースの整備進捗率	94	—	—	—
②	(説明)					

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input checked="" type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) ・根岸台五丁目土地区画整理事業地内において、区画道路、街区公園の整備を行った。 ・都市計画道路中央通線の廃止方針を受け、根岸台五丁目土地区画整理事業の事業計画変更を進めた。 ・開発手続条例、屋外広告物条例等に基づく手続きにより、開発事業屋外広告物についての規制、誘導等を図った。 ・良好な景観形成についての意見交換を開催し、市民意識の醸成等を図った。 ・開発手続条例施行後7年が経過したことから、現在の社会情勢等をふまえ、初めてとなる条例改正を行った。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) ・根岸台五丁目土地区画整理事業は、平成30年度末の事業完了を目指し、換地計画、精算金等の手続きを着実に進行する必要がある。 ・市内には、都市基盤が不十分な地域や狭小での土地利用がなされている地域があり、土地区画整理事業の実施により都市基盤整備を実施する必要がある。 ・市民・事業者・市が一体となって、景観づくりの方向性を共有しながら連携・協働して取り組む必要性は非常に高い。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) ・根岸台五丁目土地区画整理事業については、事業完了に向けて様々な手続きが生じるため、事業主体である組合と連携して進める必要がある。 ・新規の土地区画整理事業については、地権者や権利者などの理解を十分に得て事業化する必要がある。 ・開発手続条例については、社会情勢の変化をふまえ、必要に応じて適切な時期に改正等の対応を検討する必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し					
	(説明) ・区画整理事業の推進および事業完了に向け、組合との協議や助言、補助金を交付し、あわせて県との協議を行う。 ・都市計画法や建築基準法等の関係法令に基づく、審査、許認可、指導、相談など行う。 ・良好な住環境の整備に向け分譲マンション管理相談窓口の開催や地区計画、建築協定など引き続き啓発活動を行う。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大					
	(説明) ・行政は土地区画整理事業、開発行為、景観などのまちづくりに関する様々な手法について適正な手続きと啓発活動を行う。また、市民、事業者と市の連携、協働により、市内全域および地域の特性に応じたまちづくりを進める。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費) H27決算	H28決算見込	有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	計 (単位:千円)			—	—	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【緑化推進会議】 朝霞市みどりの基本計画及び花とみどりのまちづくり構想(第4期)に基づき、的確に施策を推進していくよう求められている。 【景観審議会】 朝霞市景観計画に基づき、的確に施策を推進していくよう求められている。					
部長の意見	地域の特性に応じた市街地の形成にあたっては、土地区画整理事業等の事業、開発手続条例などの法令による規制・誘導、各種計画に基づく施策の推進、市民や事業者と市の連携、協働による協定、地区計画制度等の活用など、様々なまちづくりに係る制度を活用し、総合的に進めていく必要がある。このため、各種制度の適正な運用を行うとともに、市民、事業者に対して周知啓発を図る。また、社会情勢の変化に応じて、必要があれば制度の改正等も含めた検討を行う。さらに、根岸台五丁目土地区画整理事業については、計画に基づき着実に事業を進捗するよう事業主体である組合とよく連携し、平成30年度の事業完了を目指す。					

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	特性に応じた市街地づくり		総合計画コード	541
部名	都市建設部	主管課名	まちづくり推進課	主管課部課コード 050100
関連部課名	都市建設部(開発建築課、みどり公園課、道路整備課)			

	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 根岸台五丁目土地区画整理推進事業	55,811	25,130	5	5	現状のまま
	2 都市計画総務事務事業	—	—	4	4	現状のまま
	3 道路施設維持管理事業	—	—	5	5	現状のまま
	4 開発許可等指導事業	36,569	36,482	4	4	現状のまま
	5 道路改良事業	—	—	5	5	現状のまま
	6 景観まちづくり推進事業	—	—	3	3	現状のまま
	7 街区公園整備事業	—	—	5	5	現状のまま
	8 建築行政事業	20,731	20,638	4	4	現状のまま
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計 (単位:千円)	113,111	82,250	—	—	—

施策を
構成する
事務事業の
次年度の
方向性